



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3536回例会・2026年1月21日

本日のプログラム

ゲスト卓話

「北見厳寒の焼き肉まつりのあゆみ」

北見厳寒の焼き肉まつり 実行委員長 山本 英和 様

**UNITE  
FOR  
GOOD**

R.I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

## 第3535回例会（1月14日）の記録

**ロータリーソング** 我等の生業**ゲスト** 株式会社北海道新聞社 事業センター 高野 遼 様**会長挨拶** 小林会長

皆さん、こんにちは。1月はロータリーの職業奉仕月間となっております。この月間は、ロータリアンが職業奉仕を通じて社会に貢献することを強調するためのものであります。ロータリーは自己改善を重視して、職場を健全に守り、関係者に幸せをもたらすことを目指しています。今年度の国際ロータリー会長、フランチェスコ・アレツツォさんは新年の挨拶の中で「1月はロータリーの職業奉仕月間です。専門のスキルを持つ人々が集まり、世界で良いことをする力を称えます。また、崇高性とは行動と言動が一致しているだけでなく、私達の行動に表れることを再認識していただきたい。クラブが地域社会の職業的ニーズにどのように取り組めるか、皆さんに問いかけてみたい。誰かの人生を変える可能性のあるスキルとは。会員のネットワークを通じて、若者たちにどのように扉を開かせるのか。持続可能な雇用を生み出すことのできるパートナーを見つけることができるのか。会員の皆さんは、人々の人生を変えられる知識を持っています。どのような職業であれ、皆さんの専門知識とロータリーの価値観が組み合わせることで、持続可能な変化が生まれます。問題は、何かが与えられるかどうかではなく、自分のスキルをどのように使って奉仕をするかということです。あらゆる行動の中心に崇高を据え、自分の職業スキルを人類のために活かすことをこの月間でやっていただきたい」という発信をされており、改めて職業奉仕の重要性を再認識いたしました。

一昨日の作中に転倒してしまい、気づいたら青空が上になりました。雪の下がスケートリンクのようになっておりますので、皆さんも足元に気をつけて歩いて下さい。以上で会長挨拶とさせていただきます。

### 委員会報告

**吉田ローターアクト委員長**

北見ローターアクトクラブは現在順調に活動しており、毎月例会を開催しています。先日例会に顔を出したところ、下期の活動について色々な企画を練っておりました。ローターアクトクラブでInstagramを立ち上げて活動内容を載せているそうなので、是非皆さんも親会、見守る立場として活動をご覧いただき、フォローしていただければ有難いです。また、まだまだ人数が欲しいところですので、若い社員の方がいましたらご協力の程よろしく申し上げます。

### ニコニコBOX

山崎会員～本年も宜しくお願い致します。暮れにはゴルフ同好会の年間優勝杯を戴きまして有難うございました。

佐々木(朋)会員～1月10日にうちの長女が元気な赤ちゃんを出産しました。元気な女の子です。今年は60年に1度の丙午です。元気すぎる女の子になる予定です。それに比べられるおじいちゃんになるように頑張っていきたいです。

### プログラム

ゲスト卓話「北海道マラソンの歴史と魅力、北見マラソンについて」

株式会社北海道新聞社 事業センター 高野 遼 様



皆様、こんにちは。私は、北海道新聞社で事業センターという部署に配属されております。私の業務としては北海道マラソンに1年のほとんどを費やしています。私は東京生まれで、中学高校を音更、帯広で過ごし、大学は東京へ行きました。2005年にアールビーズ社に入社し、イベント雑誌の広告担当をしておりましたが、2011年に当時の北海道マラソンの事務局長から北海道に事業所を出して欲しいと話があったところから、再び北海道に来ることになりました。2012年、今の北見マラソン大会の前身である北見ハーフマラソン大会の会場に初めて行きまして、その後転職するまで毎年10月には北見に来ていました。その縁で、小林会長と高橋幹事とは深い間柄であります。もしかすると、はじめましてではない方もいらっしゃるかもしれません。2019年に

は、暑さの関係で東京オリンピックのマラソンと競歩が札幌で開催されることが決まりました。その際には競技役員となり、競技運営を担当しておりました。2021年に北海道新聞社に入社し、現在は北海道マラソンのレースディレクターというポジションで業務を行なっています。レースディレクターは、東京マラソンや大阪マラソンのような大きな大会だと、有名な選手に出てもらうことで視聴率を取るだとか、オリンピックに繋げるためのレース展開を考えたりするのですが、北海道マラソンのレースディレクターは何でもやっています。そこで、本日は北海道マラソンの魅力などをお話させていただければと思います。

1987年に439人のエントリーで始まった北海道マラソンですが、2022年にはフルマラソンだけで2万人規模に成長しました。この大会の魅力は、夏のフルマラソンで、オリンピックのコースも走れるということと、また、暑さに強い選手がいかにオリンピックや世界陸上で勝てるかということから8月の開催に至った経緯もご紹介します。北海道マラソンは陸上競技協会、北海道、札幌市、経済関係の各団体の方々と一緒にしながら主催を組織委員会形式で行っています。開催日は8月の最終日曜日、テレビ放送も展開しており、注目度も非常に高い大会です。北海道マラソンは、現在約5億3,000万円の予算規模で実施しております。参加料として3億円、協賛金で1億1,000万円、分担金が1億1,000万円となっております。北海道マラソンは北海道新聞社が収支責任を負っているのが特徴であり、北海道や札幌市からの補助金を頂かない形で行っている珍しい大会になっています。直近10回の参加者数ですが、順調に2万人の定員に到達していましたが、2024年に1万9,450人と定員を割りました。理由としては、前年2023年の大会はとて暑くて雷も鳴り、非常に厳しいコンディションの中での開催となったため、この辺りを憂慮してエントリー数が伸び悩んだといったところです。ランナーの方々からのご意見を伺い改善した結果、昨年の大会は2万781人の方に参加していただきました。マラソンコースはオリンピックのコースを真似ている部分もあり、北海道マラソンの歴史を刻みつつ、オリンピックのコースの要素も加わっているのが魅力の1つとなっています。また、参加者が1万人を超える大会の中で8月前後はどこも大会が無いので競合がなく、ランナーを集めやすい環境になっています。競技レベルは、2万人のうち約100人が実業団や強豪大学からエントリーしていただいております。他にも、車いすマラソン、視覚障がいを持っている方、小学生の親子、18歳以上の成人であれば参加資格があり、幅広く参加を促しております。大会のアプリもリリースしており、大会単体でアプリを作ったのは全国でも北海道マラソンが初めてです。このようなツールは、参加者とのコミュニケーションが取れたり、情報発信の部分で協賛を獲得しやすいといった面があるため、最近では求められてきております。2022年からはサカナクションさんにテーマソングをご提供いただいております。昨年、参加記念Tシャツをサカナクションさんとコラボで制作したところ非常に好評でした。他の大会では類を見ない企画だったので、参加者の中で他の大会にも見習ってほしいというご意見も出ていたようです。

経済波及効果は、参加者が宿泊費などで支払った金額を計算したところ29億円という数字が算出されました。これぐらいの経済波及効果があるからこそ自治体の補助金を頂きたいという思いはありますが、逆に頂くことで自由度の効かない大会になってしまうのであれば、我々が身銭を切って、多くの方々と一体となれる大会を目指すというのがメガ大会の中では珍しいと思っています。フルマラソンは道外からの参加者が増えやすい傾向がありますが、国内の方々も色々な大会に出る傾向もありますので、我々としては海外の大会に目を向けるようにしています。昨年の大会の海外からの参加者は737人でした。今年は韓国やタイに伸びしろがありそうなので、アプローチをしている状況です。参加者の年代としては20代が増えている傾向にありますが、これは北海道マラソンに限らず全国的に増えているようであり、逆に30代、40代が減りつつあり、これは家庭内稟議が通りづらくなり北海道まで来れなくなったのでは、という分析をしています。今後は規模の大きな海外の大会と連携し、北海道の魅力や情報の発信を行って多くの方々に訪れていただきたいです。あとは、シンガポールでもランニングのウェブマガジンがありますので、それに北海道の情報を載せてもらい、より多くの方に来てもらいたいことを狙っています。

続きまして、北見マラソンが目指すべきところについてお話をさせていただきます。北海道マラソンと比較すると重なる部分は少ないですが、考えるべきところは同じだと思っています。参加者の満足度を上げるというのは当然大事であり、コースの景観で非日常を味わえる体験を提供する、要は公道を走ったり街中を駆け抜ける特別感、絶景のロケーションを活かすといった方法が挙げられます。また、ランナーのニーズへの対応として、大会後にアンケートを実施したということですが、次回大会に反映する姿勢が大事で、それでリピーターの満足度もどんどん高まっていくと思います。最近では参加者も運営を見るようになってきているので、スムーズな運営をやっていくとランナーの満足度も上がると思います。広報の面では、個人のSNSがそれなりの影響力を持つ時代になってきているので、インフルエンサーや口コミの効果をうまく使うことで、参加者の満足度に繋がっていきます。ゲストラナーの起用は、大会を支えていただいているボランティアや運営関係者の方々に対しても楽しさを提供するという役割があると思っていますので、いかにランナー以外の方とも接点を持てるかを大事にすべきだと考えています。大会の盛り上げ方も大事であり、MCや大会サポーターの起用にもこだわっています。今後意識した方がよいことは、もう既に実感しているかと思いますが、やはり街との一体感です。地域のご理解やご協力にいたただかないと継続できませんし、ボランティアや沿道の応援も大事になってきます。また、パートナー企業に協力してもらうために大会が地域の誇りとして浸透することを目指す、大会のファンを増やすために安定的な大会運営の基盤に繋がるような試みを行ない、また来たい、誰かに薦めたいと思ってもらうことが大事だと思います。私自身が大事にしているのは、達成感を多くの仲間と分かち合うという部分で、誰よりも熱量と時間をかけているという意識を持ってやっています。大会と一緒に作り上げたという意識が、次回へのモチベーションになると思っています。公道を使ったり、天気と向き合いながらのイベントですので一発勝負の怖さがありますが、皆さんの気持ちと思いを背負ってやれるところは、レースディレクターとしての楽しみでもあり、緊張感でもあり、自分を成長させてもらえる仕事だと思っています。私からは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

## 会員の輪

年明け一発目の例会での「ニコニコBOX」披露。やっしまいました。嘸みまくり(苦笑)投稿頂いた皆さん、大変失礼を致しました。さすがにちょっと心配になり、調べてみました。活舌の悪い原因は、神経系の病気のほか、歯並びが悪いことや、メンタル面の緊張。姿勢の悪さも関係するそうです。きっと、私の場合はよわ～いメンタルだ！  
(三國 聡司)

## 出席報告 舟山出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	1/7	64	5	41	2	6	-	47	77.049%

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	1/14	64	5	43	3	4	-	47	75.806%



## 【次回1月28日】 ゲスト卓話 「公益社団法人北見青年会議所のこれから」

公益社団法人北見青年会議所 理事長 船橋 悠太 様

### 地区協議会とは

次期会長が指名した次期クラブ指導者に各自の責務と奉仕の機会について理解を深めさせるため、活動意欲を刺激し、感動を与え、ロータリーの知識を伝え、クラブの管理業務を教示する事を目的として開催されます。

2025～2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」  
～行動しようRotarianとして～

2025～2026年度 北見RC

●会長／小林 和真

●幹事／高橋 雄太

●週報編集／佐々木朋志